

## 1. 子どもたちがわれを忘れて遊んで学ぶ「遊学館」

### ～“遊びと学び”の融合

遊学館は、子どもたちがわれを忘れて遊びに夢中になれる時間と空間を創り出し、自由に力いっぱい遊べる機会を提供していく。“遊び”と“学び”の融合をキーワードに、知的好奇心に富む個性を育むこととともに、科学的、文化的体験をとおして、感性豊かな瑞々しい心を育てていくことを目指す。

“遊び”と“学び”は対立する概念としてとらえがちであるが、遊学館においては、“遊びと学び”は行為とその結果であり、互いに領域を共有しあう分ちがたいものである。子どもたちが、五感をはじめ知性、感性、経験など自分に備わっている能力をせいっぱい発揮して遊び、その行為の中で挑戦し、失敗し、考え、新しい発見に出会う。その結果、経験が深まり新たな知識や能力が身につく。このような、知らず知らずのうちに”学びにつながる遊び”子どもたちに提供していきたいと考える。

遊学館では、“遊びと学び”を融合させるために、次のような3つのテーマを大切にしている。

#### ●科学への扉を開く

～遊びの中から生まれる発見や疑問、創意工夫をとおして

#### ●社会との出会いを広げる

～人とふれあいコミュニケーションを図りながら豊かな人間関係を築くことで

#### ●新しい自分を発見する

～自分を解放し感性をはたらかせ自由に表現することで

## 2. 市民が生き生きと参加する「遊学館」

### ～一人ひとりがきらめくステージづくり

遊学館は、参加する人々がよろこびや満足を得て、元気になれる場を提供していく。たくさんの市民が参加し、一人ひとりが主役となって活躍できるステージづくりを目指す。

一人の持っている様々な力が集まり、遊学館を育む。同時に参加する市民も可能性を広げていく。

このように、多様な市民の力を原動力として、元気の輪を広げていきたいと考える。

遊学館では、一人ひとりがきらめくステージづくりのために、つぎのような3つのテーマを大切にしている。

#### ●市民の意志が生かされる

市民が育てていく施設として、市民が自ら考え自ら行動する姿勢を大切にすることで

#### ●新しい協働を築く

市民が主役となって活躍する施設として、市民と行政がともに考え共に行動することで

#### ●多様な市民参加を創出する

市民が支えていく施設として、市民の参加を引き出し市民ネットワークを充実させることで